

# 茨城に残る猿伝説 佐竹氏由来の猿ヶ城

北茨城市関本町小川

今年も穏やかな正月が明けました。既に正月気分も抜けているでしょうが、寒さに負けず仕事や学業、日々の生活に取り組み明るい年としたいものです。さて、今年はず支でいうと申年です。その猿にまつわる話題を探ってみました。

茨城県は現在、野生の猿は生息しないとされています。しかし、かつて県北には野生の猿が存在していた痕跡が残っていました。

北茨城市にその名が残る「猿ヶ城」という地名です。その地名となった由来を調べてみると、猿が活躍した痕跡を見つけ出すことができます。

江戸時代の徳川の世になる前、茨城は佐竹氏の領地として大きな勢力を広げていました。



佐竹氏は八幡太郎義家の弟の新羅三郎義光の孫の昌義が佐竹郷を拝領して始まったという名門中の名門の豪族でした。しかし、佐竹一族は平安時代後期から鎌倉時代には不遇な時代を迎えています。

その一因となったのが源氏の平家追討の戦に参戦しなかったことが元で、当時の佐竹秀義が源頼朝軍に攻められてしまっています。

この戦いは佐竹軍にとって金砂城の敗戦につながり、花園城の闘いと戦場が花園山へと移っていきました。佐竹秀義一行がこの地に着くと、山猿たちがクルミ、アケビなどの木の実を運んで来て、命を長らえることができたそうです。

それが猿ヶ城の由来になりました。猿ヶ城の名前は溪谷にも名づけられ、溪谷には箱滝、落雲の滝、千猿の滝などの名勝があります。

申年の今年はず年、辰年などと共にうるう年でもありません。一年366日ある、得した年です。猿に助けられる有意義な一年を過ごしたいものです。

〈参考文献〉「常陸国花園山物語」（花園教之著）ほか



【アクセス】JR常磐線磯原駅から車約40分。常磐自動車道北茨城ICから約35分。

「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく

**ISUZU 茨城いすゞ自動車株式会社**

本社 / 〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215(大代) <http://www.ibaraki-isuzu.co.jp>